

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いつも気をつけよう 学習の進め方 用具の準備／用具のかたづけ 書くときのしせい 筆の持ち方／タブレットを活用しよう	1	◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(イ)] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(イ)]	【知】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【知】書くときの姿勢を正しくしている。 【知】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	【思】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【思】書くときの正しい姿勢を確かめている。 【思】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。	【態】積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。 【態】積極的に(①)毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)適切に扱おうとしている(④)。 【態】進んで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。 【態】進んで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしたり、タブレット端末を活用しようとしたりしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の組み立て部分の組み立て方 ①(によう)	1	◎「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	【知】「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「道」を书写するなかで、「によう」をもつ漢字の組み立て方を確かめている。	【態】進んで(①)「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「によう」をもつ漢字を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の組み立て 部分の組み立て方②	2	◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。 [知技(1)エ、(3)エ(イ)]	【知】漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。	【思】硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。	【態】積極的に(①)漢字の部分の組み立て方に注意して(③)、今までの学習を生かしなが(②)漢字を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[もっと知りたい]漢字のいろいろな書き方	2	◎速く書く場面で使ってもよい書き方を理解することができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)]	【知】速く書く場面で使ってもよい書き方を理解している。	【思】例示された文字を書くなかで、速く書く場面で使ってもよい書き方を確かめている。	【態】進んで(①)速く書く場面で使ってもよい書き方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速く書く場合の書き方で書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くときの速さ 書写広げたい①	2	◎場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)] ◎速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)] ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。[A(1)ア、(2)イ]	【知】場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。 【知】速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。	【思】文字を書くときには、場面にふさわしい速さがあることを確かめている。 【思】インタビューメモを書く活動のなかで、すばやく書き留めるための方法を確かめている。	【態】積極的に(①)場面と書く速さの関係を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識して書こうとしている(④)。 【態】積極的に(①)速く正確に書き留めるための方法を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識してインタビューメモを書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
手書きの力 [もっと知りたい]手 書き文字と活字	1	◎手書き文字のもつ力やよさについて理解することができる。 [知技(1)エ、(3)エ(ウ)] ◎手書き文字と活字の違いを理解することができる。[知技(1)エ、(3)エ(ウ)]	【知】手書き文字のもつ力やよさについて理解している。 【知】手書き文字と活字の違いを理解している。	【思】手書き文字のもつ力やよさについて考えている。 【思】手書き文字と活字の違いを確かめている。	【態】進んで(①)手書き文字に興味をもち(③)、学習課題に沿って(②)壁新聞から受けた印象について話し合おうとしている(④)。 【態】積極的に(①)手書き文字と活字の違いを考え(③)、学習課題に沿って(②)手書き文字と活字の違いや、地域ゆかりの活字について話し合おうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
字の形 点画のつながりと字形	3	◎点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。[知技(3)エ(イ)]	【知】点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	【思】穂先の動きと点画のつながりを意識して「ふるさと」を毛筆で書写するなかで、点画のつながりと字形の関係を確かめている。	【態】積極的に(①)穂先の動きと点画のつながりを意識し(③)、学習課題に沿って(②)平仮名の言葉を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
字の形 筆順と字形	3	◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	【知】筆順と字形の関係を理解して書いている。	【思】毛筆で「成長」を書写するなかで、画の始筆の付き方を確かめている。	【態】進んで(①)筆順と字形の関係を考え(③)、学習課題に沿って(②)画の始筆どうしが付く漢字を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことば	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「竹取物語」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)、「竹取物語」をなぞろうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字の配列 文字の大きさ (漢字と仮名)	2	◎漢字と仮名の大きさに注意して書くことができる。[知技 (1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)]	【知】漢字や仮名の大きさに注意して書いている。	【思】毛筆で「読む」を書写するなかで、漢字や仮名の大きさを確かめている。	【態】進んで(①)漢字や仮名の大きさに注意し(③)、学習課題に沿って(②)毛筆と硬筆で「読む」を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字の配列 用紙に合った文字の大きさ	3	◎用紙全体の大きさと文字数を考え、文字の大きさと配列を決めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)]	【知】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。	【思】毛筆で半紙に「飛行」を書写するなかで、半紙に対する文字の大きさや配置を工夫している。	【態】進んで(①)文字の大きさや配置について考え(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな大きさの用紙にバランスよく書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
めざせ！ 新聞記者 江戸川区課題書き初め練習	3	◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(2)イ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。[B(1)ウ・オ、(2)ア・ウ]	【知】漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。	【思】新聞などを制作する活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなど、学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなどを工夫して(③)、学習課題に沿って(②)新聞などを読みやすく書こうとしている(④)。
	2	◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
まとめ 江戸川区課題書き初め	3	◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
まとめ 五年生のまとめ①②	3	◎第5学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】毛筆で「近づく春」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めたためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。

令和7度評価規準

学校名:江戸川区立一之江第二小学校

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
まとめ 六年生を送る 会に向けて	3	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)オ、(2)ウ]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】プログラムや寄せ書きなどを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②プログラムや寄せ書きなどを書こうとしている④。